

## 人権学習推進委員会研修会



令和8年1月15日(木)に、児島中学校区人権学習推進委員会並びに研修会を実施しました。来年度の事業計画の大枠等について協議した後、研修会を行いました。今回は、「差別のない社会へ—私たちはどう生きるか—」というビデオを視聴し、4つのグループに分かれて話し合いました。

参加した推進委員の皆様は、和やかな雰囲気の中、お互いの話をうなずきながらしっかりと聞き、私たちが当たり前のこととっていたり、気付いていなかったりするところにも、差別や人権侵害に当たることがあるということが分かり、普段から様々な人の立場になって、想像力を働かせて考えてみるのが大切だと学ぶことができました。



### 参加者の感想

- ◆ 悪意のある人だけが差別をしているわけではないという言葉のとおり自分自身の言動にも留意したいと思いました。
- ◆ いろいろな立場や世代の人と話し合うことができ、自分の経験や考えと結び付けて深く考えることができました。
- ◆ いろいろな視点の話聞くことができ、とても有意義でした。
- ◆ 相手を知り、研究心・探求心・好奇心をもって交わり勉強することが一番です。
- ◆ 私たちのまわりには気付いていない様々な人権問題があることに気付かされました。
- ◆ 差別を受けている人の思いに気づき、自分を反省することができました。



## ホロコースト記念館・福山市人権平和資料館を訪ねて

7月29日(火)、広島県福山市の「ホロコースト記念館」と「福山市人権平和資料館」に、35名で研修視察に行ってきました。

はじめに行ったホロコースト記念館、ここはナチス・ドイツによるホロコーストについての博物館です。「アンネの日記」で知られるアンネ・フランクの父オットー・フランクの「アンネをはじめとして、犠牲となった150万人の子ども達に、ただ同情するだけでなく、平和をつくるため何かをする人になってください。」との願いに応え造られました。アウシュビッツ強制収容所の資料・遺品の他、アンネ・フランクや杉原千畝に関する資料等が展示されています。

次に行った福山市人権平和資料館は、人権の確立と恒久平和の実現が私たちの生活にとって最も基本となる大切なことであるということ学び合うための資料館です。福山空襲の実相と戦時下の暮らし、部落差別の歴史と解放のあゆみについての常設展示があり、今回は「原爆の絵」複製画展を行っていました。

どちらの館も、館長や職員の皆様が館内を巡って詳しく説明してくださいました。

当時の様子をありありと語る資料を前に、分かりやすい説明を受け、最大の人権侵害といわれる戦争が引き起こしたホロコーストや福山空襲の惨状、また部落差別の実態を知り、現在の世界情勢や人々の暮らしの中に通ずる差別と向き合い解決していくために、何かしていきたい、多くの人にこの研修で学んだことを伝えていきたい、と参加した皆さんは感じているようでした。

### 参加者の感想

♥ ホロコースト記念館を視察して、本当にこんなことがあったのかと胸が締め付けられる思いがしました。今も世界各地で紛争や戦争が起きている、たくさん子どもたちが犠牲になっていることを思うと残念で悲しいです。

♥ アンネ・フランクの父オットー・フランクについて学べてよかったです。また、ユダヤ人々を助けた多くの人たちがいたことも本当にすごいなあと思いました。差別のない戦争のない世の中にするために、人権教育は大切だと思いました。多く子どもたちが関心を持っているということをお聞きして、とてもうれしく思いました。平和の大切さをみんなに知らせていきたいと思っています。

♥ 過去の悲しい出来事として終わらせるのではなく、今当たり前に行えることが奇跡なのだと思います。日々の生活の中でのたくさんの当たり前に感謝し、違いをよき個性として認め、思いやりの心を持っていきたいと思いました。

♥ 福山空襲のことは初めて知りました。どこに落とされても悲惨なものです。戦争ほど無残なことはありません。一人一人が平和を願い、この世から「戦争」という二文字なくすことが幸せにつながると思います。

♥ 「平和は祈るものではなく、つくるもの」と以前聞いた言葉を思い出しました。日々の生活の中でのたくさんの当たり前に感謝し、違いをよき個性として認め、思いやりの心を持っていきたいと思いました。



# 異国文化ふれあい

ミャンマーの文化と

## 料理教室

ミャンマーのマングレーという地方で生まれた人気の料理を作りました！！



ミャンマー風混ぜ麺

令和7年10月25日（土）、児島市民交流センターで、児島中学校区人権学習推進委員会主催の異国文化ふれあい料理教室を行いました。

今年は、ミャンマーご出身のチョー・ジン・ウー先生に来ていただいて、ミャンマーの伝統的な朝食料理、ナンジートウツを作りました。ナンジートウツとは、ミャンマーの中部、マングレー地方で親しまれている伝統的な朝食料理で、太めの米麺と鶏肉のカレーを使用した麺料理です。



4つのグループに分かれ、先生の指導を受けながら協力して楽しく作っていきました。参加者は、油をたくさん使ったり鶏肉を長時間煮たりするなど、日本の調理とは異なる調理方法に文化の違いを見つけ、明るい雰囲気の中でおいしく作ることができました。とてもおいしく、トッピングによって味変することもおもしろかったので、みんな笑顔になりました。

会食をしながら、先生からいろいろな映像資料を見せてもらい、ミャンマーの文化や食生活についても、大変分かりやすいご講話を聞きました。質問にも終始笑顔で答えてくださったので、参加者全員、ミャンマーの文化にしっかりと触れて、視野を広げる有意義な時間となりました。参加者からは、今回学んだことを自分が所属する団体や地域に広めていきたいという声がありました。これからもこの事業を続けながら、すべての人たちと互いの違いを理解し尊重し合える関係を築いていけるようにしていきたいです。



### 参加者の感想

- 外国の食事を体験でき、皆でワイワイと楽しく作業できて楽しかったです。
- いつもならたくさん残してしまうのですが、今日はビデオを見せていただきながら、お話を聴かせていただいたので、ゆっくり時間をかけていただくことができました。先生のお話は前向きで、とても感心しました。
- 初めてのミャンマー料理で、皆で楽しくできてよかったです。ひよこ豆粉は、初めて食べました。
- チョー先生が、わが県に経営学を学びに留学され、将来を踏まえて、しっかりと目標をもって歩まれている姿に感動しました。

# 倉敷市立 緑丘小学校

## 校内 なかよし週間の取組について



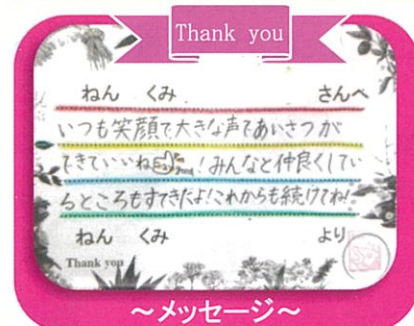
緑丘小学校では、一学期と二学期に、それぞれ1回ずつ、校内なかよし週間の取組を行っています。今年度も6月と11月になかよし週間を設定して、一人ひとりの人権を大切にすることについて、それぞれの学年や学級の実態に合わせて取組を行いました。

まず、なかよし週間のテーマを代表委員会で話し合い、テーマをもとに全校で取り組みました。そして、なかよし週間に関する週目標のもと、各学級で学級目標を決めて、全校のテレビ放送で学級目標に関するスピーチを行いました。

### 人権標語



### 人権ポスター



なかよし週間の具体的な取組としては、人権に対する意識を高めるために、人権ポスターを描き、校内に掲示しました。そして、人権標語を作成して、校内に掲示し、良い標語は全校のテレビ放送で紹介しました。図書館には人権図書コーナーを設置し、児童が自由に本を選んで読めるようにして、さらに、人権に関する本の読み聞かせを行いました。児童が互いのよさを見つけられるように、もらった友達がハッピーな気持ちになるようなメッセージを書くハッピーレター、よい発言や行動を一定期間、継続的に行っている児童に一言メッセージを書いて送るグッドビヘイビアチケットの作成などを行いました。

これらの取組をすることによって、これからも一人ひとりのよさや多様性を認め合い、みんなで力と心を合わせて課題を解決していこうとする意欲や実践力を身に付けることができるようにしたいと思います。



### 人権図書コーナー

